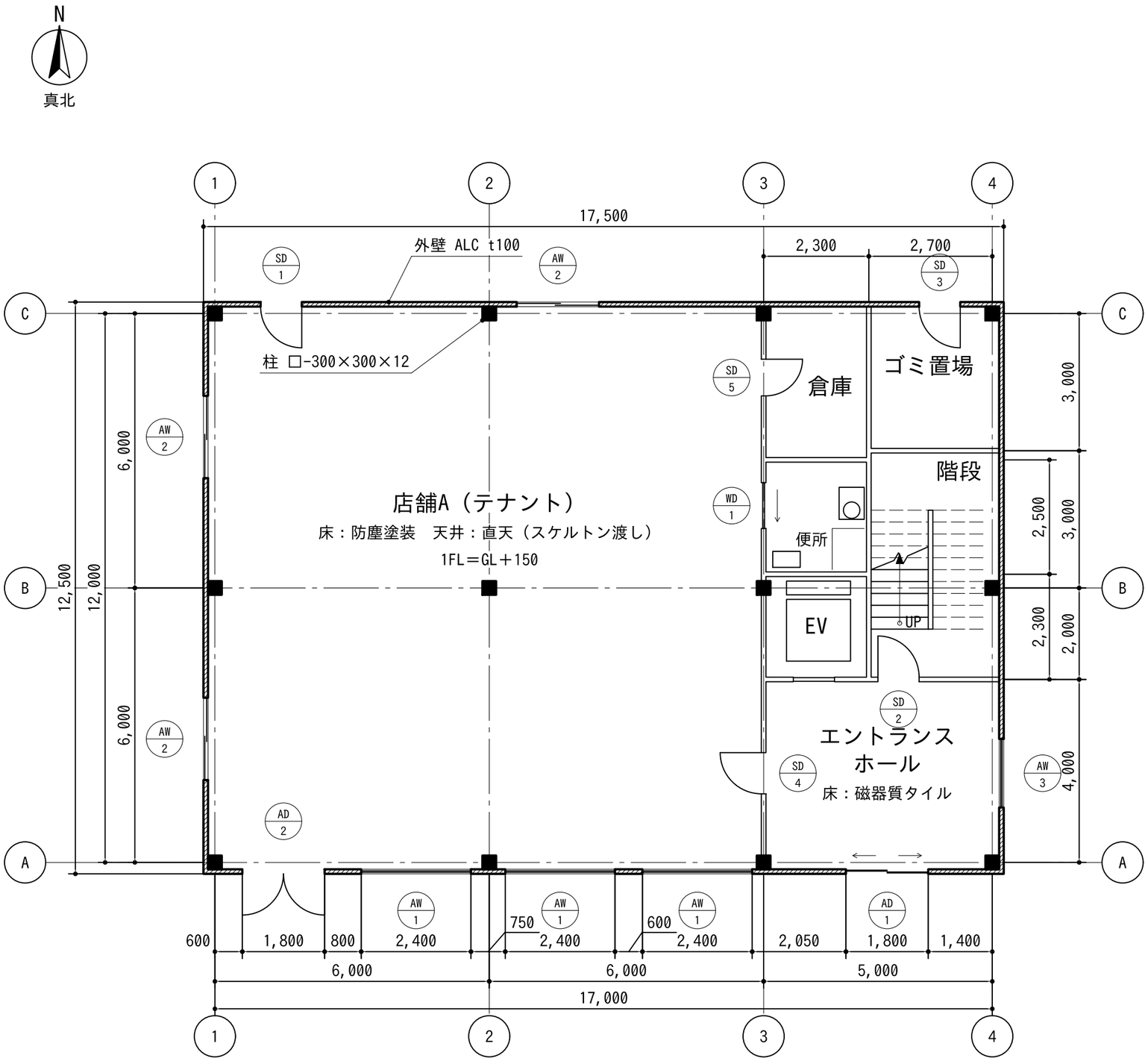


1階平面図　1/100

建築概要（提案例）

構造・階数	鉄骨造　地上3階
用途	店舗（1階）・事務所（2・3階）
床面積	各階 204.00㎡ × 3層　延床面積 612.00㎡
建物の大きさ	17,500 × 12,500（外壁外面）　通り芯 17,000 × 12,000
階高	1階 4,000　2・3階 3,600　1FL＝GL＋150
主な部材	柱 □-300×300×12（BCR295）　大梁 H-400×200×8×13
外壁・間仕切	ALC t100（外壁）／LGS65＋PB12.5 両面（間仕切）

建具表（1階）

記号	名称・形式	W×H	数量	場所
AD-1	アルミ電動引分け戸	1,800×2,400	1	エントランス
AD-2	アルミ框戸（両開き）	1,800×2,400	1	店舗A出入口
AW-1	アルミFIX窓	2,400×2,400	3	店舗A正面
AW-2	アルミ引違い窓	1,800×1,200	3	店舗A
AW-3	アルミFIX窓	1,500×2,000	1	ホール
SD-1	鋼製片開き戸	900×2,100	1	店舗A裏口
SD-2	鋼製片開き戸（特定防火設備）	900×2,100	1	階段室
SD-3	鋼製片開き戸	900×2,100	1	ゴミ置場
SD-4	鋼製片開き戸	900×2,100	1	店舗A・ホール間
SD-5	鋼製片開き戸	800×2,100	1	倉庫
WD-1	木製引戸（多目的便所）	1,000×2,100	1	便所

凡　例

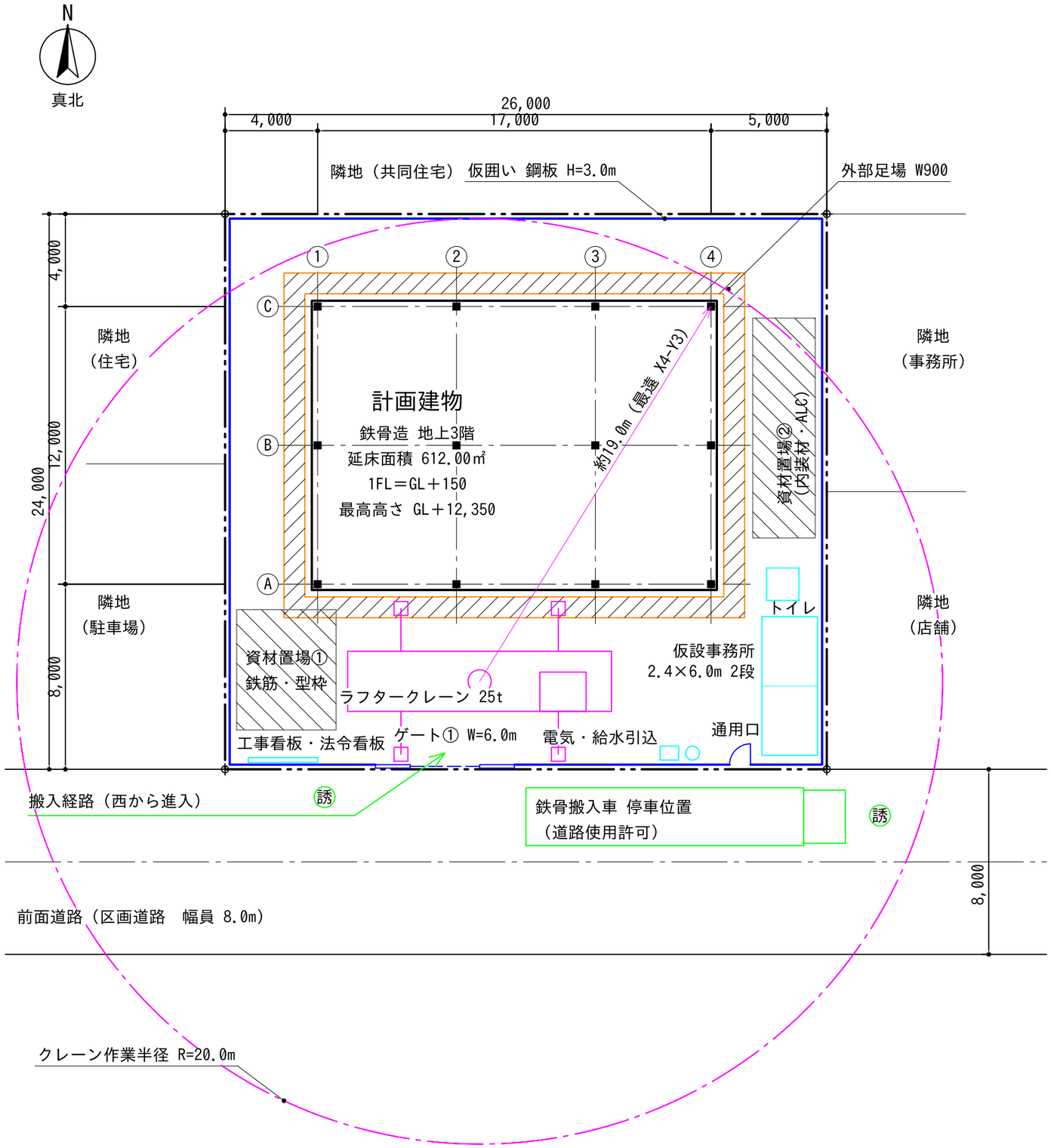
- 外壁 ALC t100
- 柱（角形鋼管）
- AW 1　建具記号（種類／番号）
- 間仕切 LGS＋PB
- 通り芯
- 切断面より上の部分

注　記

1. 寸法の単位は mm。柱・大梁は通り芯の中心に配置する。
2. 床面積は通り芯で算定（提案例の条件）。
3. SD-2 は特定防火設備（常時閉鎖式）とし、階段室を竪穴区画とする。
4. 店舗Aの内装はテナント工事（B工事・C工事）の区分による。
5. EV（乗用9人乗）の出入口・かごは昇降機業者の図による（建具表に含まない）。

工事名称	（仮称）見本町 テナントビル新築工事		
図面名称	1階平面図		
尺度	1/100（A3）	図面番号	A-03（1/2）
担当	ZAZOU 設計Works　松村	日付	2026-11-27

提案例（実在の建物・会社とは関係ありません）



仮設計画図　1/200

仮設計画の概要（提案例）

敷地	26.0m × 24.0m　敷地面積 624.00㎡
仮囲い	鋼板 H=3.0m　延長 93.1m
出入口	パネルゲート W=6.0m　1か所／通用口 W=0.9m　1か所
外部足場	枠組足場 W900　延長 66.0m × 高さ 13.5m ＝ 約891㎡
仮設建物	事務所 ユニットハウス 2.4×6.0m 2段／仮設トイレ 1基
揚重機	ラフタークレーン 25t　1台（鉄骨建方）
道路	鉄骨搬入日は道路使用許可・交通誘導員 2名

揚重の検討（提案例）

最大の吊り荷	柱 □-300×300×12　1節目 L≈6.9m　約0.72t
吊り具の重さ	約0.10t
作業半径	最大 約19.0m（R=20.0m で検討）
定格総荷重	約1.9t（R=20m・概算値。機種の性能表で確認）
負荷率	約43%（80%以下）

凡　例

- 敷地境界線
- クレーン作業半径
- 計画建物（外壁外面）
- 資材置場
- 交通誘導員
- 仮囲い（鋼板 H=3.0m）
- 搬入経路
- 外部足場（建方の後）
- 仮設建物
- 境界杭

注　記

1. 外部足場は鉄骨建方の完了後に組み立てる（建方中はクレーンの作業範囲とする）。
2. 吊り荷は隣地の上空を通さない。旋回範囲は合図者の指示による。
3. 鉄骨搬入日は道路使用許可を取り、誘導員 2名を配置する。
4. 資材置場は工程に合わせて入れ替える（基礎→①、内装→②）。

工程と仮設の段取り

工程	時期	仮設・揚重の状態
準備・土工	1月～2月	仮囲い・ゲート・ 事務所を設置。残土はゲート①から搬出
基礎	2月～3月	資材置場①に鉄筋・型枠。生コン車はゲート①から
鉄骨建方	3月末～4月	ラフター25tを場内に据付。搬入日は道路使用
外装・内装	4月末～8月	外部足場を組立。資材置場②に内装材・ALC
外構・検査	8月～9月	足場を解体し、仮囲いを外して外構工事

工事名称	（仮称）見本町 テナントビル新築工事		
図面名称	仮設計画図		
尺度	1/200 (A3)	図面番号	T-01 (2/2)
担当	ZAZOU 設計Works　松村	日付	2026-11-27

提案例（実在の建物・会社とは関係ありません）